

# セメント新聞

発行所 セメント新聞社  
東京都中央区京橋3-12-7  
電話 (03) 3535-0621(代)  
URL <http://www.cement.co.jp/>  
購読料 1カ年 41,470円  
©セメント新聞社 2014

## あ ん ぐ る

至誠館大学で前期2単位を、選択科目というコマを頂いて「現代の日本社会」をテーマに授業を担当している。外国人が多い大学で、年齢、民族、目的が異なり、東南アジア各国から入学してくる。学費のためアルバイトしながら勉強し、ほとんが外国人という構成。つい最近、外国人労働者を拡大するという方針転換が起ったが、そんなに簡単に増員できるのだろうか？ 場当たり的な事をすれば、現場での労災事故が増加するだけで

### 大学での授業体験

西村 繁

お互いに不幸な事になると思う。長期的な視野に立ち、自主性を認め、日本理解と、出身国の理解を同時に出来る環境を準備する事だろう。本学における卒業生は、こうした訓練や、教育にふさわしい人「家元制度」が見え隠れする。その「島の言葉」を使えると近親感を覚えるのは、人に共通しているのではないだろうか？ つまり「脳というメモリー」をどのように使うのか？ それが自己責任であり、大学で教える事なのである。我がクラスの学生達、全員と言わないが、引く手あまたの人材に育っていると思う。(中島興業社長)